

# そうぜんじ便り

19世 俊諦和尚筆

第128号  
平成29年春彼岸号  
臨濟宗 宗禅寺  
建長寺派  
住職 高井正俊  
副住職 高井和正  
羽村市川崎2-8-20  
TEL 042-554-1276  
FAX 042-578-3525

# 第19回春の文化展

3月18日(土)～20日(月・祝) 10時～16時(最終日15時半まで)

十九回目を迎える春の文化展。今回の特別展は宗禅寺にある  
仏像の一斉展示です。創建400年を迎えるにあたり、仏像の  
修復を行いました。ご本尊様はもちろん、聖徳太子様や不動明  
王様など、沢山の仏様を拝むことができます。意外にもじつと  
りとご尊顔を拝む機会は少なく、観覧して下さった皆様に新  
たな発見があれば幸いです。檀家さんでなくとも、入場できま  
す。お友達をお誘いあわせてのご来場をお待ちしております。

## 特別展示

「宗禅寺のほとけさま」

◆施茶 十八日十時～ 中里宗美社中

○春の彼岸早朝坐禅会。十七日～二十三日まで。朝六時～七時です。  
清々しい朝の空気を全身で感じます。どうぞご参加下さい。  
○宗禅寺花まつりの集い開催致します。四月八日(土) 十三時より。  
生田流箏の演奏をお楽しみ下さい。花供養もします。

## 展示

書道・絵画・造形・写真・折り紙・民芸・俳句  
編み物・尺八・パッチワーク・篆刻・山野草  
陶芸・木彫等 **施茶 18日 10時～**

## 宗禅寺毎月の活動

お寺で新たな自分を発見

- 朝粥坐禅会…… 毎月第一日曜日 朝6時～8時半 一日の始まりに坐禅。坐禅後、  
禅の作法でおかゆをいただきます 4/2 5/7 6/4 7/2
  - 土曜坐禅会…… 毎週土曜日 子供：6時～7時 大人：7時半～9時半  
背筋を伸ばしてじっくり呼吸。煩わしいことを忘れて。
  - 彼岸早朝坐禅会…… 彼岸中毎朝開催。坐る時間も短めで初心者向きです。  
3/17～23 期間中毎朝6時～7時
  - 土曜講座…… 毎月一回の勉強会。お茶代として300円。13時～16時  
地域文化の共有と創造を目指し、地域伝統を後世に。  
3/25 円覚寺管長さん法話 4/29 禅林寺様にて中里介山忌
  - 写経会…… 毎月1日、11日、21日、1時～3時  
般若心経の写経をしています。支度、片付けは全員で。
  - 御詠歌…… 毎月第1・3火曜日 1時半～3時
  - 木彫教室…… 毎月第1・第3土曜日 13時～16時まで 講師：新井達矢先生  
場所：宗禅寺禅センター 仏像や能面を自分で彫ってみませんか？  
月謝5000円(道具、材料費は要別途)
  - 俳句教室…… 毎月1回、適宜。問い合わせ先：中野つたえ ☎554-2444
  - 尺八吹禅の会…… 毎月第1、第3月曜 夜7時半～9時頃 坐禅15分、練習60分  
問い合わせ：坂井陵童 ☎554-3273
- 女性サンガの会・薬師講・寺子屋委員会・護持会 —活動中です—  
○宗禅寺禅センターをお使い下さい。

## おかげさまで… 五月二十七日 晋山式挙行

## 晋山式奉賛委員会発足ののお知らせ

本年五月二十七日に和正和尚の晋山式（住職就任式）を迎えます。大変大きな行事になりますので、檀信徒皆様の代表として奉賛委員会を発会致しました。二月十三日に第一回の委員会を開会し、ご出席者皆様のご賛同をいただき正式に発足致しました。委員の皆様には当日までの三ヶ月間、様々な面でお世話になります。よろしくお願い致します。委員以外の檀信徒の皆様も、御承知のほどよろしくお願い致します。

※稚児行列も予定しております。ご参加希望の方は応募用紙にて、お申し込み下さい。

## ◆宗禅寺第二十一世定山和正和尚

晋山式奉賛委員会（敬称略）

## ◇檀信徒総代会

大野哲夫・中野祐司・新井政昭・中村 修

大野元雄・中村勝司・新井敏行

## ◇薬師講中役員

島田光雄・島田 弘・中里国英・横田信夫

平井幹廣・島田弘道・中根康雄・島田秀男

大野伊佐男・秋山一男・島田重雄・田村章

雨倉久行・菅原政雄・中野満子・島田昌稔

大塚敏行・渡辺英男

## ◇護寺会会長

中根 要

## ◇女性サンガの会

大野澄子・中野行子・中村春子

## ◇坐禅会

加藤勇次

## ◇写経会

鈴木博久

以上三十二名

晋山式しんざんしき（住職就任式）

お寺に新しく住職として晋む（進む）

ことです。お寺には山号があり（宗禅寺

は医王山。薬師如来の山）、入寺すること

を山に晋む（進む）と表現しています。

元々お寺の住職は世襲制ではなく、外部からお迎えするのが普通でしたので、儀式の始まりは近所の檀信徒宅になります。

自動車もない時代、歩いて旅してきた新しい住職が、ご近所の檀信徒宅（安下処あんげしよ）

の間をお借りして、旅姿から正装に着替えさせてくださいました。これからお

世話になる地域の檀信徒を代表して、場所を提供して下さったお礼に、仏壇の前で先

祖代々の供養のお勤めをさせていただいた後、岩手釜石の虎舞・御詠歌衆・お稚児さ

んと行列をなしてお寺に晋むのです。晴れて山門をくぐって本堂にてお寺の開山様や

鎮守（守り神）様や檀信徒の皆様に誓いの決意を漢詩で披露し、お勤めをさせていただく儀式になります。

宗禅寺では正俊和尚が平成六年に晋山式をさせていただきました。二十三年ぶ

りのお目出度い儀式となります。

当日は本山建長寺の管長猥下を始め、法縁の和尚様や来賓の皆様が多数ご来山

されます。檀信徒皆様にもこの機会を見届けていただきたく思います。正式な案内状は別送致します。皆様のご臨席をお

待ちしております。

# 節分豆まき会 (星祭り)

二月三日に毎年恒例の豆まき会を開催致しました。今年は本堂が増築工事中でしたが、梅林棟梁が豆まき用の舞台を作ってください、万全の態勢で当日を迎えることができました。

節分の豆まきは、中国から伝わった追儺(ついな)と呼ばれる鬼払いの儀式が最初宮中で行われ、それが一般庶民にまで拡がったものです。

豆をまくのは「魔滅(まめつ)」の意味があり、節分は旧正月に当たるため、豆をまいて鬼を払うことで一年の無病息災を祈る行事になりました。

宗禅寺の豆まきでは来山くださったすべてのお子様にご豆をまいていただいております。どなたでもご参加できますので、また来年お誘いあわせてお越し下さい。

朝からお手伝い下さりました皆様、ありがとうございました。



鬼さん町内に出発。豆まき会のお知らせをしに出かけます。



境内では無料で建長汁をお出ししています。坐禅会と写経会の皆様による手作りです。



かつぼれさくら会様の奉納演舞。今年は舞台も広く、安心して踊っていただけました。



鬼さんからお菓子のプレゼントがあります。



お子さんたちによる豆まき体験ができます。

## 尺八コンサート

二月五日の午後、急遽尺八の演奏会を開催致しました。演奏してくださったのは、親戚でもある上田流師範、山本観山先生です。以前にもお寺で演奏して下さりましたが、広島県在住の先生に、「次に東京に来ることがあれば、ご連絡をお願い致します」と、住職が伝えており、先生から東京での予定があることを



聞いたことから、急遽お越し下さいました。

当日はただ演奏するだけではなく、尺八という楽器の持つ魅力についても丁寧に説明して下さいました。

洋楽器と和楽器の違いや、五線譜には表現しきれない、細やかな息づかいや演奏技法など、集まってくださった皆様は尺八の奥深さを改めて感じて下さったのではないのでしょうか。

次回も機会があれば、お招き致します。今度は前もって皆様にお伝えできるような努力致しますので、ご注目下さい。わざわざ足を延ばして羽村に来て下さりました山本観山先生、本当にありがとうございました。

## 疾病退散地藏遷座

本堂増築に伴い、銀杏の木の横に長年安置されてきましたお地藏様を動かす(遷座)こととなったことは前号にてお伝え致しました。三月二日に新しく安置する場所に正式に遷座致しましたことを



ご報告致します。台座の下に納められていた「一字一石経」の石も、再び納めさせていただきました。嘉永五年(1852)に村に疫病がはやり、多くのお子さんがお亡くなりになった折、皆の病気の平癒を祈り、お経が書かれた石です。当日は総代さんにも来ていただき、ご焼香と石を納める作業を一緒にしていただきました。施工していただいた大和園様、秋島庭園様ありがとうございました。

## 宗禅寺史編纂

これまで宗禅寺創建400年記念事業として、川崎の歴史と宗禅寺の歴史の編纂を寺子屋委員会と島田文庫長を中心に継続的に続けてきました。川崎の歴史はまだまだ時間が必要になりますが、この五月の晋山式を目標に宗禅寺の歴史「宗禅寺史(仮題)」を完成させ、記念品として檀信徒皆様にお配りする予定でいます。

作成に当たっては最終的に外部の方のお力を借りて行うことになりました。

二月六日に作成に携わるすべての方が



編纂会議



仏像調査・修理

集まって編纂の会議を致しました。

また、同じく創建四百年を機会として宗禅寺の仏像のお手入れをさせていただいております。住職との御縁から鎌倉の仏師芝崎慶太さんに修復をお願い致しました。春の文化展にて綺麗になったご本尊様や仏像を拝むことができます。ご来場お待ちしております。

## 半鐘御礼の旅

昨年末十二月十九日から一泊二日で、

半鐘を届けて下さいました宝月院様に総代さんと御礼の旅に行つて参りました。

宝月院様は曹洞宗の寺院で、静岡市葵区梅ヶ島という所にあり、かつては金が採れた場所でもあります。新東名の新静岡インターから安倍川沿いを上流に上がつていきます。途中、京都の大本山、東福寺の開山様である聖一国師の生誕地を思いがけず通りがかり、不思議な御縁を感じました。茶畑がわずかに見える道沿いをインターから一時間ほど登つてお寺に到着致しました。



宝月院和尚様と

お寺にて御礼の諷経をさせていただき、宝月院様から御紹介いただいたお宿「湯ノ島館」で一泊です。

梅ヶ島温泉はかつて湯治場として栄えたそうですが、現在は貸切風呂をたくさん設け、ご家族でゆっくり過ごせるお宿にリニューアルしております。お料理もおいしく、とても静かにゆっくり過ごせるお宿です。是非一度お訪ね下さい。

夜の宴会には宝月院御住職にもお越しいただき、沢山お酒を飲んでいただきました。大変有り難いことです。今年の晋山式にもお招きする予定です。軽トラックでわざわざ届けて下さった宝月院景浦住職の行動力に深く感謝申し上げます。

## 文庫長だより

島田 秀男

今年二月市主催の歴史講座で、広福寺について講演しました。羽村の歴史に関するものであればどんなテーマでもよかったです。依頼されたときすぐに浮かんだテーマが広福寺だったので、『宗禅寺史』の原稿を執筆しているさなかでしたから、寺に関するものであれば話ができると思ったのかもしれませんが。

広福寺といっても、羽村とは結びつかない方も多いと思います。江戸時代、羽村には寺が六か寺ありました。宗禅寺、禅林寺、禅福寺、一峰院、吉祥寺、広福寺です。このうち、吉祥寺と広福寺は現在ありません。吉祥寺については、阿蘇神社鳥居の南側にあつて、中世には後北条氏の祈願所として栄えましたが、文化十一年(一八一四)火災にあい建物が焼失し衰退したことがわかっていきます。

しかし、広福寺は建てられていた場所さえも不明でした。このことから、「幻の寺」と呼ばれていたのです。

『羽村町史』では、一峰院近辺にあつたとも、禅福寺付近にあつたともいわれ明瞭ではないとしています。これを受けて下田和敏さんは、延享三年(一七四六)の村明細帳から広福寺について調査し、その結果について発表しましたが、まだ具体的には究明できませんでした。その後、一峰院住

職であつた小島岱山さんが「羽村における知れざる心の文化遺産」という論文をまとめられ、そのなかで広福寺の位置や歴代住職について考察した結果を公表しました。小島さんは、広福寺の位置は禅福寺山門付近にあつたとし、禅福寺の過去帳から広福寺の住職を探り出し、墓地からは住職の墓石を発見したのです。

禅福寺の山門前の土手は、以前多摩川側に広くせりだして、そこに広福寺が建てられていました。広福寺には、江戸初期から後期にかけて九名の住職がいたことがわかりました。特に第七世と第八世の住職は、一峰院とも関係が深かつたようです。

元文四年(一七三九)七月、一峰院の檀家である神主が死亡し、葬儀を行うことになったのですが、一峰院住職は本山建長寺の法要に出かけていて不在であつたため、広福寺第七世の住職と吉祥寺の住職が葬儀の支度をしたのです。しかし、喪主側は、一峰院に無断で仏式ではなく神葬祭で葬儀をすませてしまつたのです。

このことに対して、一峰院の住職は神主であろうとも檀家であるかぎり仏式で葬儀を行うべきではないか、「檀家たる法を破るもの」として寺社奉行に訴え、社家を相手取り争うことになつたのです。

結果は、仏式で葬儀をやり直すこと、神主側が一峰院に詫言証文を入れることによつて関係者は処罰されないというものでした。この裁判は、一峰院住職が事件の経過

を克明に記録していたこと、当時の民事裁判の手続きや方法が詳細にわかること。そして、町火消しの結成や小石川養生所の設置などで名高い大岡越前守が同席していたこともあり、日本裁判史上有名になつたようです。

次に、第八世の和尚さんは、一峰院の弟子として修行していて、広福寺の住職に就任しました。広福寺も禅福寺と同様青梅市長淵にある玉泉寺の末寺でしたが、このころは一峰院とかなり密接な関係にあつたことがわかります。このような広福寺も享和元年(一八〇一)以降無住となり、明治初年には禅福寺に統合され廃寺となつてしまいました。

しかし、このことによつて幻であつた広福寺の全貌が解明されたわけではありません。たとえば、廃寺になつたとき建物や本尊の地藏菩薩像、そして檀家の人たちはどのようになつたのかというような疑問が残ります。その疑問を解決するためには想像する力と仮説を設定する力が必要です。それが、歴史だと思えます。

今回広福寺について話をしながら、あらためて歴史のもつ魅力を感じました。まだまだ「幻の寺・広福寺」なのです。

参考図書

『羽村町史』

『会報羽村郷土研究』第五号

『羽村町郷土博物館紀要』第三号

## 寺門清風

(住職日誌)

- 正月元旦を期してウォーキング開始。
- 年頭回礼 総代さん宅 1/4
- 総代夫婦新年会。二十人於隠寮 1/6
- 年頭回礼 建長寺・円覚寺の管長さんへ  
「蘭溪坐禅儀」を呈上 1/7
- 土曜講座、灯籠流しのための打ち合わせ 1/9
- 大腸内視鏡・胃カメラ異状なし 1/12
- 川口長徳寺義堂老師齋会 1/14
- 薬師講 新年会 役員全員 1/15
- 小川先生「臨済録」拜聴。大坐禅会の打ち上げ、シエラトン都ホテル 1/17
- 中学校 同級生一杯会 1/17
- 鎌倉禅研究会 横田管長、小川先生 1/19
- 宗禅寺にて経本の改訂↓教本へ 1/20
- 建長寺で羽村市役所係長会、案内 1/21
- 瑞穂 福正寺鈴木達雄和尚津送 1/23
- 京都 新旧臨黄総長会 於竹茂楼 1/24
- 京都泉涌寺、奈良西大寺訪問 1/25
- 土曜講座 養老孟司・中野恒雄 1/28
- 宗禅寺 節分会大盛会六百人 2/3
- 文庫長羽村で講演。文化展会議。山本観山師範尺八演奏会 2/5
- 宗禅寺仏像調査・淵田先生以後も。「宗禅寺史」編集会議 寺子屋新年会 2/6
- 稲垣歯医者さんへ次に馬詰眼科 2/7
- 本堂増築工事、足場組み 2/8
- 晋山式 広徳寺さんへ総監依頼へ。西東京臨済会、新年総会 2/9
- 東慶寺御長男御誕生「雪哉」君。鎌倉塾、奥西希生彫刻家講演、ベスト 2/10
- 宗禅寺、晋山式奉賛委員会(第一回) 2/13
- 東慶寺で鎌禅会。鎌倉美学で水田俊之さん追悼会。浅尾・てらこや 2/15
- 建長寺鎌倉禅研究会柘野俊明師 2/16
- 東京赤坂で私の誕生日祝をして下さる。いつメンの会 2/17
- 東京日経ホールにて白隠講演会 2/18
- シアル鶴見て「禅文化フェア」会議。湯島麟祥院にて小川先生臨済録 2/20
- 宗禅寺 晋山式寺院衆評。東禅寺滝本豊洋和尚晋山祝い 2/21
- 東京アメリカンクラブで北沢さん 2/22
- 京都 建仁寺管長さん晋山式拜請。七日会て素堂老師諷経。天ぶら松 2/24
- 鎌倉禅研究会 今年の予定完成 2/25
- 宗禅寺 厄除け地藏 経石を元にもどす。総代・大和園・秋島庭園 3/2
- 釜石震災シンポジウム・菊地準 3/3
- 鎌倉カルタ大会 建長寺 鎌倉大仏で寺子屋感謝祭 3/4
- 建長寺管長さんへ、晋山式拜請。建長寺史会議 白川宗昭師来山 3/6
- 建長寺鎌倉禅研究会 館隆志 3/9
- 鎌倉で松ヶ岡文庫役員会 3/10
- 東日本大震災追悼法要、寺写経会 3/11
- 湯島麟祥院、小川先生臨済録 3/13
- 宗禅寺 うどん教室・護持会清掃 3/14
- 西多摩新聞社でお話。鎌倉・東慶寺、鎌禅会、横田南嶺老師「仏光録」 3/15
- 宗禅寺春の文化展 宗禅寺四〇〇年記念「宗禅寺のほとけさま」 3/18
- 三島・龍澤寺老師 晋山式拜請 3/21
- 宗禅寺土曜講座 円覚寺横田南嶺老師「ころびても花の中」講演 3/25
- 五月二十七日 和正和尚晋山式

## 宗禅寺日單 (副住)

- 龍澤寺 お世話になった後藤榮山老師に新年のご挨拶 1/1
- 谷中 新年恒例の親族の新年会。三十名集まる。 1/2
- 綾子さんと立川へ買い物に 1/3
- 年頭廻礼 住職と檀信徒総代の皆様へ新年のご挨拶。節分の世話人さんにも併せて廻る。 1/4
- 総代新年会 お寺で総代さん御夫婦と新年会。今年のゲストは彭丹さん。法政大学の講師で現在建長寺の開山様の語録の研究を下さっている方です。総代さんに今年抱負を発表 1/6
- 消防 出初式のための一斉放水訓練を動物公園駐車場にて。 1/6
- 出初式 羽村一中にて出初式。 1/8
- 土曜講座 二月の土曜講座の打ち合わせ。橋本弘山さん、島田弘道さんなど歴代の実行委員長の皆様がご来山 1/9
- 福生 西東京臨済会災害支援部の新年会。十二月の熊本現地ボランティア活動の反省と今後の活動について 1/9

- 谷中興禅寺 興禅寺の本山京都・興聖寺の管長さんが興禅寺にご来山。四月の開山様四百回忌法要のことで。私も参加させていただくこととなり、ご挨拶のため谷中へ。 1/10
- 相模湖 母淑子さんと相模原長福寺住職夫人の通夜へ。 1/12
- 宗禅寺史 淵田先生と島田文庫長とミニ会議。掛け軸、屏風。宗禅寺の一年の文章の手直しが必要かも 1/13
- 坐禅会 今年の坐禅会が始まりました。寒い中大勢集まって下さいました。 1/14
- 朝粥坐禅会 朝粥も始まる 1/15
- 薬師講役員新年会 お寺で薬師講役員さんとの新年会。本堂で諷経、新年の挨拶の後、客殿で宴会 1/15
- 宗禅寺 淵田先生の仏像調査 1/16
- 立川 晋山式に使う紙を立川で買います。瑠璃花と花音は松原内科でインフルエンザ予防接種 1/16
- 墓地 一部の墓地通路を檀家さんのご供養で修繕して下さることに。施工業者さんと檀家さんと現場視察 1/17
- 薬師堂 福生消防署来山。薬師堂や庫裡、本堂の防災チェック。消火器やセンサーなど。 1/17

- 書き初め 毎月和尚さんだけの書道教室をしています。1月は恒例の書き初め。 1/19
- 大相撲 中根一明さんのご招待で大相撲初場所千秋楽へ。日本人関取、稀勢の里の優勝が大いに盛り上がる。終って後援会の打ち上げへ。貴重な体験をありがとうございました。 1/22
- 瑞穂・福正寺 鈴木達雄和尚津送儀へ住職と。 1/23
- 総代会 臨時総代会をお寺で。議題はもちろん今年の晋山式のこと 1/25
- 計報 谷中の愛犬ジュンが亡くなったとの知らせが入る。瑠璃花と花音は予防接種 1/27
- 土曜講座 養老孟司先生の講演と中野恒雄さんのお話。私は釈迦の入滅。百五十名。講座後、谷中へジュンの顔を見に行く 1/28
- 節分豆まき 今年も天候に恵まれる。舞台は梅林さんがしっかりと用意して下さいました。 2/3
- 土曜講座 羽村灯笼流しのこと。歴代実



行委員長の皆様のパネルトークと市内禪福寺住職田島泰文和尚のお話。 2/4

○春の文化展 第一回の実行委員会。今年の特展は「宗禅寺のほとけさま」。

仏像の一斉展示です。現在御本尊様含めて修復に出しています。 2/5

○尺八演奏会 親戚でもある山本観山さんが羽村まで来て下さり急遽演奏会をして下さいました。和楽器と洋楽器の違い、五線譜で表わせない深みのある尺八の世界を丁寧の説明しながら演奏してく下さいました。 2/5

○宗禅寺史 夕刻から寺史編集会議。島田文庫長、淵田先生など十名で。いよいよ締切迫る。 2/6

○西東京臨済会 災害支援部部会を青梅東禅寺さんで。九日の新年総会にて配布する書類の整理。 2/7

○五口市広徳寺 五月の晋山式にあたり、総監さんをしていただく広徳寺さんに住職と御挨拶に。快諾してく下さり、一安心。 2/9

○昭和館 フォレストインの車屋にて西東京臨済会の新年総会。出席者三十三名。昨年度の活動・会計報告と今年度

の活動予定。災害支援部発足を正式に承認いただきました。 2/9

○森嶋法衣店 午前中森嶋さん来山。晋山式、稚児行列のことなど。 2/10

○西東京臨済会 新年総会にて承認された今年の活動や会計報告の発送作業。今年の研修会について協議。 2/13

○宗禅寺 晋山式奉賛委員会発足。総代さんと薬師講役員さん。総代婦人様と坐禅会、写経会の代表者。正俊和尚の晋山式の映像を皆で見る。 2/13

○手打ちうどん 島田辰夫さんによる手打ちうどん教室。正式に始めるにあたっての試し打ちと、お手伝いして下さいの方々の習礼もかねて。 2/14

○横浜 瑠璃花と花音と横浜のアンパンマンミュージアムへ。昼前に到着し、一日過ごせました。夕食は日ノ出モールのフードコートにて。 2/15

○衆評 五月の晋山式にあたっての衆評。近隣の和尚さん二十三名来山。概要など打ち合わせ。 2/21

○祝賀会 青梅新町東禅寺さんも昨年正式に住職が交代。羽村四ヶ寺にて住職就任祝い。河辺にて一献。 2/21

○消防 市内消火栓点検へ。 2/22

○京都建仁寺 建仁寺管長様に五月の晋山式の拜請。住職と。 2/24

○お地藏さん 山門左に遷座するお地藏さんの台座に再び一字一石経を納めました。総代さんも立ち会っていただきました。 3/2

○文化展 第二回実行委員会。 3/4

○建長寺 管長さんと僧堂師家、総長さんに五月の晋山式の拜請。併せて円覚寺管長さんにもお渡し致しました。 3/6

### 宗禅寺観音募金

(平成28年12月13日～平成29年3月2日)

皆様からの募金、お費銭をこのように使っています。ご協力ありがとうございます。

前回繰越 17,162円

収入 132,045円

支出 120,000円

内訳	30,000円	羽村市社会福祉協議会
	30,000円	あしなが東日本大震災遺児支援募金
	30,000円	西東京臨済会災害支援部様
	30,000円	建長寺観音募金様

繰越 29,207円

## 土曜講座のお知らせ

昨年九月から始まりました土曜講座。

一月にはベストセラーになった「バカの壁」の著者、養老孟司先生をお迎えして自然の中にある人間の命のお話しをいただきます。二月は羽村灯籠流しをメインテーマにし、歴代の実行委員長のパネルトークと、市内禅福寺ご住職田島泰文和尚の貴重なお話しをいただきました。

三月は鎌倉円覚寺管長、横田南嶺老師にわざわざお越しいただきます。当代きつての禅僧のご話しになります。ご期待下さい。

## ◆第七回土曜講座

三月二十五日(土) 十三時より

会場—宗禅寺

・法話「ころびても花の中」

円覚寺管長 横田南嶺老師

・仏教講座 「お釈迦様のお弟子さん1」

副住職 高井和正

・「西多摩の気象災害」

前宇都宮気象台次長 島田 修先生

## ◆第八回土曜講座

四月二十九日(土) 十三時より

会場—禅林寺(羽村市羽東三—一六—二二三)

・法要・挨拶「中里介山忌によせて」

禅林寺住職 岡崎啓純和尚

・仏教講座「お釈迦様のお弟子さん2」

副住職 高井和正

・講演「中里介山を学ぶ」

宗禅寺文庫長 島田秀男先生

※会場禅林寺様は、羽村駅西口よりまっすぐ羽村堰へ向かって坂を下りた左側です。

## ◆第九回土曜講座 五月十三日(土)

・仏教講座 副住職 高井和正

・「福生から見た川崎村」

福生市文化財保護審議会会長

・「ドイツ人尼僧の見たドイツ・日本・イスラエル」

高崎勇作先生

・「ドイツ人尼僧の見たドイツ・日本・イスラエル」

須坂市豊樂庵主 高津ドロテー(慧親)先生

## ◆第十回土曜講座 六月十七日(土)

・仏教講座 住職 高井和正

・「川崎村を通して見た人と組織」

前宗禅寺総代長 中野恒雄さん

・「羽村の歴史」 小作寿郎さん

## ◆第十二回土曜講座 七月二十一日(土)

・仏教講座 住職 高井和正

・川崎から生まれた会社・羽村金型

羽村金型会長 鈴木 寛さん

・「多摩の姿を見る」

多摩信用金庫地域連携支援部長 長島 剛先生

## ◆第十二回土曜講座 八月二十六日(土)

・仏教講座 住職 高井和正

・ヴィオラ演奏 田村しおりさん

・「大島渚と共に六十二年」

女優 小山明子先生

※いずれも十三時より十六時までです。

## 平成二十九年鎌倉禅研究会

高井正俊和尚主宰の鎌倉での公開講座。

資料代五百円と建長寺の拝観料をご負担下さい。一時〜四時半です。

## ◆第二百二十九回 四月二十七日(木) 於建長寺

・建長寺開山蘭溪和尚語録の現代語訳

法政大学講師・建長寺研究員 彭丹 先生

・蘭溪道隆禅師の「行状」をめぐる

駒澤大学大学院生 福厳寺副住職 采沢良晃師

## ◆第三百十回 五月十一日(木) 於建長寺

・了禅が書き残した禅籍

元金沢文庫長 高橋秀栄 先生

・泉涌寺における中国宋代の仏教儀礼と文化

泉涌寺宝物館学芸員 西谷功 先生

## ◆第三百三十一回 六月八日(木) 於建長寺

・建長寺開山蘭溪和尚語録の現代語訳

法政大学講師・建長寺研究員 彭丹 先生

・禅宗の葬送儀礼について

早稲田大学大学院 廣福寺副住職 白川宗源師